

行政視察報告書

平成 26 年 1 月

文教民生常任委員会

1. 日 時 平成 26 年 1 月 15 日(水)～17 日(金)

2. 視 察 者 文教民生常任委員会

委 員 長 鰐原 一男

副委員長 佐藤 誠

委 員 谷中 恵子、横尾 武男

大島 久幸、小松 英夫

随 行 者 議会事務局庶務担当副主幹兼係長

駒場 久和

3. 調査事項

1 月 15 日(水)

福岡県 大牟田市 午後 2 時 45 分から午後 4 時 00 分

(1) 休日夜間診療について

1 月 16 日(木)

佐賀県 武雄市 午前 9 時 00 分から午前 10 時 30 分

(1) 図書館の運営について

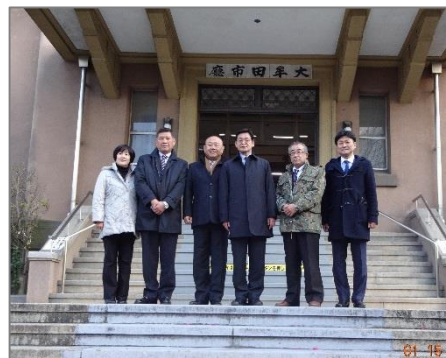
福岡県 筑前町 午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分

(1) 特定健康診査等実施計画について

4. 報告事項

福岡県大牟田市 休日夜間診療について

大牟田市は、かつて三井三池炭鉱の石炭資源を背景に、昭和 34 年には最大人口 20 万人余人を誇ったが、現在人口 12 万 5 千人余りが市の面積 81.5 km²に生活基盤を求めています。高齢化の急速な進展や生活習慣病罹患者の増加による保健・医療の充実が求められる中、市民が安心して暮らせるよう、保健、医療、福祉の連携の下、保健所、市内にある医療機関、病院 25 か所、一般診療所 142 か所、歯科診療所 81 か所と、地方独立行政法人大牟田市立病院の専門的、技術的な機能を生かしながら、地域における保健、医療の充実に努めています。



休日急患対策では、大牟田市とみやま市に合併した旧高田町で組織する医師会・歯科医師会に委託し、内科系 3、外科系 2、小児科系 1、眼科 1、歯科 1 の医療機関で休日急患に係る“**在宅当番医体制**”を、また小児科系あるいは内科系の 1 医療機関で“**平日時間外小児急患診療体制**”をとっています。

利用時間帯は、午前 9 時～午後 10 時（眼科は午後 6 時、歯科は午後 5 時）までで、平日夜間小児科当番医の利用時間帯は午後 7 時から 10 時までです。

また、大牟田医師会所属の中で 27 医療機関が**病院群輪番制**により、この地域の**夜間救急医療**にあたっており、日・祝日、平日を問わず、午後 10 時以降は、特に 5 つの医療機関が対応しています。

休日や夜間に急な診療を要する市民に対し、迅速な処置ができるような体制を確保するため、**在宅当番医制診療**の充実、**病院群輪番制運営補助**等に 4,700 万円程の事業費を見込んでいます。

ちなみに、鹿沼市の**センター方式**による初期救急医療と二次救急医療、三次救急医療体制の整備・充実に対する総事業費は、1 億 2680 万円程(平成 24 年度決算)です。

大牟田市では、ごく軽い症状で緊急性が少ないと思われる場合は、休日当番医や平日夜間小児診療当番医、救急外来を受診することを控え、まず、日ごろから自分の健康について、よく知ってもらっている「**かかりつけ医**」「**かかりつけ歯科医**」に相談するよう勧めています。

2006年（平成18年）3月に旧武雄市、山内町、北方町の1市2町が合併して誕生した武雄市は、面積195.44㎢、人口5万人余り、1300年の歴史を誇る温泉郷、400年以上の歴史を誇る陶芸の里、そして巨木の里としても広く知られています。

現在の「武雄市図書館」は、平成12年に竣工しましたが、TSUTAYAで知られる『カルチャ・コンビニエンス・クラブ』（CCC）を平成25年4月に新たに指定管理者とし、図書カードにTポイントカードを導入したり、スターバックスカフェを併設したりと、これまでの公立図書館のイメージを覆す図書館としてリニューアルしました。

武雄市図書館・歴史資料館 / 武雄市+カルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社は、公益財団法人日本デザイン振興会より2013グッドデザイン特別賞を受賞しました。その内容を参考として報告します。

武雄市図書館の概要

武雄市図書館は、“図書館を中心とした市民生活の提案”という市民の新たなライフスタイルをデザインする「新・図書館構想」を実現しました。資料収蔵や図書貸出の場といった従来の図書館像にしばられず、図書館、書店、カフェが一体的に融合することで、コーヒーを味わいながら館内の本を自由に読め、勉強も仕事も会話もできるなど、様々なライフスタイル・ステージの市民にとって居心地の良い場と新たなコミュニティを創出しています。また、それらは、従来の行政主導や民間企業お任せではなく、官と民が本質的に連携し、企画段階から本の搬出・搬入などの開館準備、市民への説明、オープン後の現在に至るまでのプロセスを共有することで実現しました。

● 武雄市図書館を「身体・人間」の視点からみて

老若男女の利用を前提としたバリアフリーの施設設計や耐震設計など安全面への配慮と、館内の居心地の良い雰囲気作りを両立させた。書棚からカウンターに至るまで木製の什器を使用、また、住居用の照明器具を使用した館内は、落ち着いた温もりに包まれ、図書館を創造の場として活用したい市民への空間を創出しています。また、蔵書の配架には、日本十進分類法に代わり、直感的に本を発見できる新たな分類方法を導入しています。

- 武雄市図書館を「生活」の視点からみて

スターバックスを公共図書館内に初出店し、館内のどこでもコーヒーを飲みながら、図書館の蔵書や販売書籍を自由に閲覧できる「Library & Café」を実現し、飲食禁止、私語禁止といった図書館ならではの敷居の高さも取り除くことで、図書館を、本を借りる場や資料を調べる場としてだけでなく、コミュニティ空間として、図書館の新たな価値を創出するとともに、図書館を中心とした市民生活の提案をしています。



- 武雄市図書館を「産業」の視点からみて

技術的な観点では、RFID (IC タグ) による図書館の蔵書管理や位置情報管理を行っています。貸出と販売が一体型になったセルフカウンターで、蔵書 RFID を活用した簡便な貸出が行え、iPad による蔵書位置検索も容易に行えます。また、図書館カードを新たに作るのではなく、手持ちの T カードを図書館カードとして活用する、共通 ID の仕組みの導入は、新たなカードを持ち歩く手間を省くとともに、利用機会の拡大に寄与しています。

● 武雄市図書館を「社会・環境」の視点からみて

個人の価値観が多様化する中で、様々なライフスタイルの市民が自分の居場所を見つけられる新たな場として「様々な知に直感的に触れられる空間」「静かな読書空間」「防音された学習室」「電源も使え PC の利用も可能な仕事場」「読み聞かせなども行い子どもの知を育む場」「談話も可能なカフェと併設された空間」「歴史資料も収蔵する文化のアーカイブ」「講演や勉強会も開催するホール」といった価値を実現しています。

言葉だけの官民連携ではなく、市民価値の向上に向けて官と民がともに汗を流し、プロセスを共有し連携することで、全く新しい価値が創出されます。特に図書館は、そこにコミュニティが生まれ、新しい文化やライフスタイルが生まれる場所、まちづくりの拠点であり文化の発信拠点でもあります。だからこそ誰もが利用できる利便性や誰もが利用したくなる居心地の良い空間を、官民が連携して、常に追求していかなければならないと、武雄市図書館は、利用する市民・ここを訪れる全ての方々に伝えています。

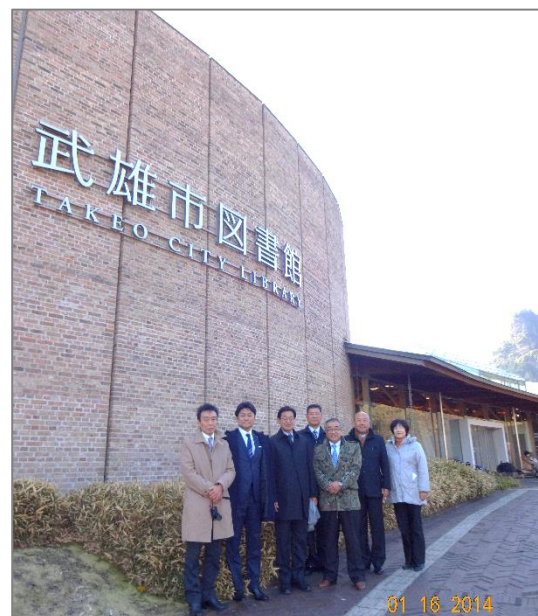
合併後、初代市長となった^{ひ わたしけいすけ}樋渡啓祐氏という稀にみる個性ある市長の存在に注目が集まるなかで、今回の文教民生常任委員会の視察研修は行われました。

“進化する公立図書館”か、“公設民営のブックカフェ”か、議論の分かれるところです。

鹿沼市の図書館担当者をはじめ行政・教育関係者にも是非視察し、判断して頂きたい施設の一つであると思います。



武雄市図書館のサイン、武雄オリジナル T カードのデザインなどは、長野オリンピックの開会式や無印良品のブランディングにも携わった『原研哉氏の作品』です。



福岡県筑前町 特定健康診査等実施計画について

福岡県筑前町は福岡県の筑紫平野の北部に位置し、平成 17 年 3 月に旧夜須町、三輪町が合併し誕生した、人口 29,468 人、世帯数 10,248 世帯（平成 25 年 11 月末現在）面積 67.18 km²の町である。従来より米、麦、大豆の普通作を中心とした農業地帯であるが、近年は福岡都市圏や久留米広域圏に隣接しているという恵まれた立地条件を背景に人口が増加している。



特定健康診査（いわゆるメタボ健診）・特定保健指導について

わが国は、国民皆保険制度によって、高い保険医療水準を達成してきました。しかし、急速な少子高齢化、疾病構造の変化などの大きな環境の変化に直面し、国民皆保険を堅持していくため、国は平成 17 年に「医療制度改革大綱」を策定しました。

これを踏まえて、平成 20 年 4 月から高齢者の医療の確保に関する法律により、医療保険者に対して、生活習慣病予防の徹底を図るため、『特定健診・特定保健指導』の実施が義務付けられました。

筑前町の特定健康診査等実施計画について

● 「第 1 期特定健康診査等実施計画」について

平成 24 年度の目標として、特定健康診査実施率を 65%、特定保健指導実施率を 45% とし、メタボリックシンドローム（内臓脂肪型肥満）に該当する人、及び予備群と判定される人を 10%減少させることを目標に平成 20 年度から 24 年度までの 5 年を 1 期とする「特定健康診査等実施計画」を定めました。

取り組みの結果、過去に 1 回でも特定健診を受診している人と平成 23 年度初めて受診した人の健診結果を比較すると、初めて受診した人が、ほとんどの項目で検査の基準値を超えている割合が高くなっています。これは、継続受診によって検査データが改善していることと、未受診者の中には重症化している人が多数含まれていることを示しています。そのため、新規受診者を増やすための取り組みが重要となります。

ちなみに、平成 20 年度以降、一度も健診を受診したことがない人と継続受診している人の平成 24 年 5 月診療分の生活習慣病にかかる入院外の医療費を比較したところ、継続受診者の平均医療費は、健診を全く受けたことがない人と比較して 16,656 円低いという結果でした。1 年間で、1 人当たり 20 万円の差額が生じます。健診を受け、健康づくりに取り組むことが医療費の減少につながっていると考えます。

- 「第 2 期 特定健康診査等実施計画」について

平成 25 年度から平成 29 年度を期間とし、特定健診実施率 60%、特定保健指導実施率 60%を実施目標とする計画です。

計画内容の中に、保健指導実施者の人材確保と資質向上が記されています。

保健指導実施者には、健診・保健指導を計画的に実施するために、まず健診データ、医療費データ（レセプト等）、要介護度データ、地区活動等から知り得た対象者の情報などから地域特性、集団特性を抽出し、集団の優先的な健康課題を見出す能力が求められます。

具体的には、医療費データ（レセプト等）と健診データの突合分析から疾病の発病予防や重症化予防のために効果的・効率的な対策を考えることや、どのような疾病にどのくらいの医療費を要しているか、より高額にかかる医療費の原因は何か、それは予防可能な疾病なのか等を調べ、対策を考えることが必要となります。

平成 25 年 10 月に稼働した国保データベース（KDB）システムでは、健診・医療・介護のデータを突合できることから、集団・個人単位での優先的な課題設定が容易になることが期待されます。その力量アップのため、健診データ・レセプト分析から確実な保健指導に結びつける研修に積極的に参加しています。

筑前町健康推進系のスタッフは鮮やかなピンクのジャンパーに身を包み、**国保特定健診・がん検診・女性がん検診等**に関すること、**国保特定保健指導・その他保健指導**に関すること、母子保健に関すること、予防接種に関すること、その他健康づくりに関すること等、責任ある仕事に邁進している姿が印象的でした。



結びに、

今回の行政視察に要した経費の総額は 80 万円程です。文教民生常任委員会の継続調査事項は「医療費の削減について」であり、福岡県大牟田市、筑前町の研修は当委員会の活動に大いに参考になるものです。

今後の行政視察に際し、担当部職員の帯同が許されるならば、諸課題の対策等において更なる認識の共有化が期待できると思われました。鹿沼市職員その他市への視察研修について検討をお願いします。

われわれの行政研修を受け入れ、誠実に・熱心に説明して下さいました 2 市 1 町の皆様に感謝申し上げます、委員会の調査報告と致します。



大牟田市議会事務局長の説明



武雄市担当者の説明



筑前町文教厚生常任委員会委員長
日本共産党 河内直子議員の挨拶



武雄市の玄関 多くの視察団体の掲示